

RPA が PGGM 社員の支持を受け、 同社を年間 1,200 時間の節約に 導くまで



組織の概要

PGGM は、年金管理、コミュニケーション、エグゼクティブ向けアドバイス、資産管理の分野においてサービスを提供する会社です。2018 年 12 月現在、同社は 2,110 億ユーロ相当の年金資産を運用しています。PGGM は、次の 3 つの重要な課題に取り組んでいます。新しい持続可能な年金契約を考案すること、クライアントとオープンかつ率直に話しをすること、コストの透明性を確保することです。

課題

PGGM の主な会計システムでは、請求書进行处理するために、支払いを行う前には Excel シートを使用した多くの手作業が不可欠でした。そのため、社員がデータ入力を行うのではなく、作業の分析にもっと多くの時間を費やせるような方法を模索していました。早期に結果を得たいと望んでいた PGGM にとって、理想的なソリューションが RPA でした。

ソリューション

RPA パイロットプログラムの立ち上げ時には、社員の作業量から日常的なデータ入力のタスクを排除するために必要な Bot の作成を開始するにあたり、外部コンサルタントの協力を求めました。会社の費用のかかるセットアップ プロセスへの依存があまりに大きくなりつつあることが判明し、PGGM は Automaton Anywhere に着目しました。すると、独自の Bot を 2 週間にも満たない短期間で作成できるという、うれしい発見があったのです。

メリット

1,200

年間で節約された時間

10

導入された Bot の数

2

最初の Bot の作成に要した週

自動化されたプロセス

- コスト管理
- データ処理 / 変換
- パフォーマンスの調整
- キャッシュ フロー処理

業界

サービス

「最初の Bot は 2 週間以内で作成することができました。これが実現できたのは、ひとえにオートメーション・エンジニアのソフトウェアのおかげです。その品質は素晴らしいの一言につきます」

— マーティン・リール、
RPA 開発者

ストーリーの詳細

開発チームは、社内の関連するすべての部門との話し合いの場を設け、RPA 関連のすべてのタスクに対するリスク評価プロセスを開始しました。この評価に基づいて、削減計画が作成され、最終的には RPA のポリシーが文書化されました。主な目標は、まず開発チーム内で集中的に RPA に取り組み、その後、他部門からの要望に応えることでした。導入が成功した後、PGGM の開発チームは他のグループへの RPA の導入に着手しました。

当初、社員は Bot や RPA という発想に躊躇していました。しかし、自動化の成功を目の当たりにし、RPA がもたらす時間的なメリットを理解した後、Bot に任せられることを積極的に探さようになりました。

自動化の効力を社員全体に知らしめた最もインパクトのあるユースケースの 1 つが、請求書処理でした。以前は、請求書を処理するために多くの手作業が必要でした。今では、請求書に関して Excel やデータ入力が必要になりました。Bot が全てを確認し、収支計算を自動的に実行し、請求書チームは、特定の請求書が確認され、承認または拒否されたことを PGGM のスクリプトから電子メール通知で受け取ります。支払いを確定するために必要なのは、一度の人的な介入のみです。

今後の展望

RPA チームは、社内に正式なセンター オブ エクセレンスを設立するという最終的な目標に向け取り組んでいます。自動化がもたらすビジネスの価値を実証した今、チームは社内の他の部門の自動化をサポートし、さらに多くの成果を上げることが期待しています。

RPA の導入を果たした PGGM は、現在、同社の多くのプロセス内部に存在する、一部の非構造化ドキュメントに対処するため、Automation Anywhere IQ Bot のコグニティブ機能について検討しています。

「当初、社員は Bot に対して不安を抱き、使用をためらっていました。今では、Bot の成果を実感する部門が増え、満足度も高まっています。自動化によって、仕事はさらに面白くなるでしょう」

ー ジム・ヴァン・エス、
RPA 開発者

Automation Anywhere について

オートメーション・エニウェアは、人がアイデア、思考、フォーカスを用いて企業を強化できるように支援します。私たちは、世界で最も洗練されたデジタルワークフォース プラットフォームを提供し、ビジネスプロセスを自動化し、人を定型的な業務から解放することでよりよい仕事環境の実現を支援します。

Automation Anywhere  www.automationanywhere.com/jp  contact_Japan@automationanywhere.com

 @AutomationAnwJP  www.facebook.com/AutomationAnywhJP

Automation Anywhere ©2019

2019 年 7 月、バージョン 1

